

八尾高校新聞

発行所
富山県富山市八尾町
富山県立八尾高等学校
新聞編集委員会
印刷
株式会社 なかたに印刷

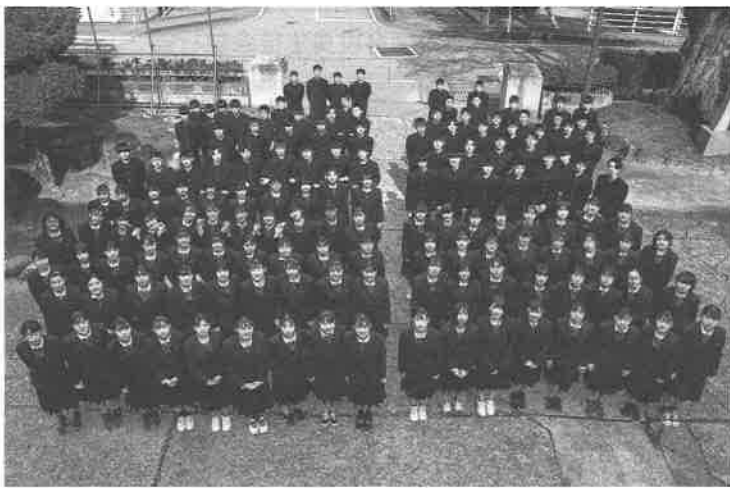
春平和なる学苑 我等の誇り きょう147名 晴れの集立ち



高啼く理想 道を拓かん

第74回 卒業証書授与式

来る三月一日、本校第一体育館にて第74回卒業証書授与式が挙行される。新型コロナウイルスに翻弄された学校生活であったが、学業や学校行事に果敢に立ち向かった卒業生に幸多かれと願う。



卒業生集合

代表生徒喜びの声

●普通科総代 表 翔太君(34H)
八尾高校に入学してから、早くも三年が経ちました。この三年間はたくさんの楽しい思い出が、充実した学校生活を送ることができました。また、仲間と日々切磋琢磨し合うことで、

●卒業生代表答辞 田中 輝翔君(32H)
今日までの三年間を通して、私たちはこれから始まる新たな人生に必要なものを手に入れることができました。何より、かけがえのないたくさんの仲間、先生方に出会い、数え切れない程の

校外賞受賞者

高体連 特別表彰

一般表彰

高文連 文化連盟賞

文化連盟特別賞

全国高体連ボート専門部 優秀選手表彰

全国福祉高等学校長会理事長賞

全国高等学校家庭クラブ連盟家庭クラブ員功労者

富山県高等学校図書館協議会賞

村上 泰雅(32H)
塚本 陽太(33H)
桐山 希花(32H)
平野 瑠花(32H)
吹奏 瑠都(33H)
川合 真央(32H)
田中 輝翔(32H)
長澤 美優(34H)

村上 泰雅(32H)
塚本 陽太(33H)
藤田 蘭(34H)
谷井 風姫(34H)
野澤 世莉(34H)
中村 時乃(33H)

卒業証書授与式に総代として証書を受けるのは表翔太君(34H)、答辞は田中輝翔君(32H)が務める。また同窓会入会式では、小林直輝君(33H)が記念品を受領、杉原唯奈さん(33H)が謝辞を述べる。
校外賞受賞者は左記のとおり。

ボート部

全国高等学校選抜大会出場



ボート部
田知本さん・秋元さん

十月二十三日、二十四日に愛知県東郷町愛知池漕艇場で行われた第35回中部高校選抜ボート大会で女子ダブルスカルに出場した田知本遥奈さん(22H)、秋元若

吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会に出場

吹奏楽部は昨年7月の富山県吹奏楽コンクール、8月の北陸吹奏楽コンクールで代表の座を勝ち取り、十月九日、十日の第二十二回東日本学校吹奏楽大会(於：札幌コンサートホール)に初出場を果たした。部長の有井那奈美さん(34H)は「本番は、北陸代表という誇りを持ち、楽しんで演奏することができた。結果は銀賞でしたが、これまで重ねてきた練習の成果を出し切ることができた」と語り、光栄に思い、私たちがいつも応援してくださった全ての方々に、一杯の感謝を伝えられるよう、心を込めて答辞を述べます。

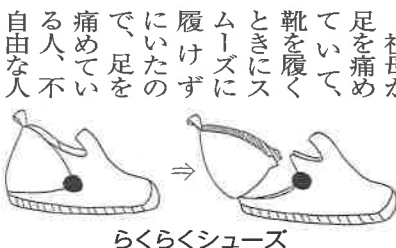


吹奏楽部は、この大会に先立って行われた第四十五回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」にも二年連続で富山県

福祉用具

アイデアコンクール受賞

令和三年度福祉用具アイデアコンクールにおいて、長澤美優さん(34H)のアイデア「らくらくシューズ」が富山県知事賞を獲得した。
「作品を考えたいきっかけ」と作品の使い方



らくらくシューズ

祖母が足を痛めていて、靴を履くときにスムーズに履けず、いたで、足を痛めている人、不自由な人

でも履けるような靴があればいいなと思いこの作品を考えました。靴の底に重さに反応するボタンが入っていて、靴を履くときにボタンを踏むと自動でかかと部分が上がり、ロックがかかります。靴がぬげる心配はありません。靴を履くときは横のボタンを押すと、自動でかかと部分がはずれます。

なお、江野朱音さん(34H)、佐藤希愛さん(34H)、辻こず恵さん(34H)、萩原小遥さん(34H)がそれぞれ入賞を果たした。

ハートフルクリスマス



福祉コース(3年)によるクイズ



郷土芸能部による おわら

は演劇部、郷土芸能部、吹奏楽部、福祉コースの生徒たちが、クリスマスに合わせ地域の児童、園児たちと交流した。

たかなき

▼新型コロナウイルスが流行した当時、世界中が大騒ぎしていたが、その騒ぎも今や日常と化してしまっている。次から次へ新たな変異種が現れ、収束の出口が見いだせない。果たして新型コロナウイルス、オミクロン株の収束に向けて私たちにできることはあるのだろうか。▼当たり前のことだが、感染を防ぐために「マスクの着用」「不要不急の外出の自粛」は欠かせない。しかし、オミクロン株はその感染対策をいかにくぐり、非常に強い感染力を見せており、私たちのすぐ側まで迫っている。自分が感染しなくても友人、家族が感染、あるいは濃厚接触者になり、行動が制限されると、その影響は波紋のように広がり、広範囲に渡って社会活動を停滞させてしまう。ある病院では、最初の感染者からクラスターが発生し、新規入院患者の受け入れを停止した。命にかかわる重大な疾患を抱えた急病者は、この病院には入院できないし、他の病院もすでに新型コロナウイルス患者を受け入れていけば医療スタッフや病床に余裕がないかもしれない。その時、この患者はどうなるのだろうか。▼新聞やニュースでは、事実のみの報道に留まるが、私たちは、感染拡大がどのような事態を引き起こすのか、想像力をフルに活用し、自らを律する力を養いたいものである(M.A)

